松原市立松原第五中学校　進路通信　No.2

令和8年　4月17日

NOBIRU

1.始業式から9日・・・

4月8日（水）の始業式から9日が経ちました。この9日間は皆さんにとって、どのような9日間だったでしょうか。新しいクラスになり緊張していた人もいたでしょうし、修学旅行の取組の中でワクワクする気持ちでいた人もいたでしょう。中には、3年生になったから「がんばろう!」という気持ちでいっぱいの人もいたかもしれません。

オリエンテーション期間が過ぎ、教科の授業も始まりました。来週には、全国学力・学習状況調査も実施されます。スタートダッシュに成功した人も、まだエンジンがかかっていない人も、中学校生活最後の1年間が始まっています。学力は、未来へはばたくための翼です。翼を大きく強くするために、日々の学習や復習にしっかりと力を注ぎましょう。

2.進路通信「NOBIRU」の名前

進路通信「NOBIRU」とはどのような意味でしょうか。この「伸びる」という言葉は、3年生の学年目標にも、五中の校歌にも出てきます。

この進路通信「NOBIRU」は、皆さんが「伸びる」ために、進路選択に関する情報、高校などからのお知らせ、体験入学やオープンスクールの紹介、奨学金の案内、勉強方法のアドバイス等も紹介しようと思います。未来へはばたこうとしても、前が見えていなければ目的地には着けません。たくさんの情報を得て、自分のめざす未来を見つけてください。

松原市立松原第五中学校校歌

作詞　石濱恒夫

一.
伸びよ　はばたけ　若いちから
見よ　はるか　金剛生駒
つらなる峯に　陽はのぼる
強く　正しく　美しく
はてしない道　肩組んで
ゆこう希望の　わが校舎
五中　五中　松原第五中学校

そのために、進路通信は・・・

①まずは、各自で隅々まで読む。自分に関係なさそうでも、まずは一通り読んで、自分に必要かどうかを判断してください。

②家に持ち帰って保護者の方に読んでもらってください。自分勝手に判断してゴミにしてはいけません。体験入学などは保護者の方も参加できるものが多くあります。進路通信をきっかけに進路のことを保護者の方と話してみてください。

3.自分を変えられるのは自分自身

もう皆さんも実感していると思いますが、中学生の勉強は小学生の勉強とは違います。小学生の頃は基本の内容が中心で、少し勉強すればできたかもしれません。少しくらいサボってしまっても、一生懸命に取り組めばすぐに追いつけたかもしれません。

しかし、中学生になると、勉強は基本的な内容だけではなく、応用問題が出てきます。しっかりと考えないとできない内容も増えてきます。多くの中学生は、ここでつまずきます。

ここで大切なことは、つまずかないようにすることではなく、「つまずいた時にどうするか?」です。「何とかなるだろう」と思っているだけでは、何ともなりません。本当に分からないままになり、余計に自分を苦しめるだけです。それを放っておくと、本当に追いつけなくなります。

では、分からないところがあれば、どうするのか?

・授業が終わった後、先生に聞きましょう。
・分からない問題は、解説をよく読みましょう。
・理解できないところは、早めに復習してクリアにしましょう。

その積み重ねが、これからの差になります。3年生のスタートにあたって、つまずいたまま放っておくのか、分からないところを少しずつでも潰していくのか。決めるのは、「あなた」です。すぐに全てが理解できてクリアになるわけではありませんが、それでも上にあるような努力を積み重ねることで、1年後は変わるはず。泣きたくなければ、歩くしかありません。

他人を変えることは難しい。先生たちは皆さんを応援していますが、皆さんの行動や心持ちを本当の意味で変えることは、皆さん自身にしかできません。

「あなた」を変えるのは、「あなた」自身です。

「あゝ人生に涙あり」

作詞　山上路夫

人生楽ありゃ苦もあるさ
涙のあとには虹も出る
歩いてゆくんだしっかりと
自分の道をふみしめて

人生勇気が必要だ
くじけりゃ誰かが先に行く
あとからきたのに追い越され
泣くのが嫌ならさあ歩け

人生涙と笑顔あり
そんなに悪くはないもんだ
何にもしないで生きるより
何かを求めて生きようよ